

上野大臣政務官によるESDをテーマとした土曜日学習会



ESDについて説明する上野政務官

2月1日(土)、上野文部科学大臣政務官が母校・宇都宮市立昭和小学校で教壇に立ち、集まった小学5、6年生18人と、ESD(持続可能な開発のための教育)をテーマにした「土曜日学習会」を行いました。文部科学省では、官民の連携による土曜日教育ボランティア運動など、「土曜日の教育活動推進プロジェクト」を推進しており、この学習会はその一環として行われたものです。

学習会では、まず、地球儀を使って冬季五輪の開催地であるソチなどの場所を探すことで、子供たちが世界に関心を向けられるようにし、その後、パネルやパワーポイントを使って身近な郷土料理や毎日の給食の写真を提示することで、世界の食糧問題と食品ロスの問題について関連づけて考えられるようにしました。また、資源・エネルギーの問題、気候変動、災害など地球規模での様々な課題について、自らの外国訪問の経験などを交え、子供たちの毎日の生活と結びつけながら分かりやすく説明しました。

その後、上野政務官が子供たちに「それじゃあ、どうしたら良いと思う?」と問いかけると、子供たちは懸命に自分で考え、積極的に手を上げて意見を発表していました。



ソチはどこかな?



学校・地域の方々との意見交換会

学習会終了後、上野政務官、教育再生実行アドバイザーを務める貝ノ瀬三鷹市教育委員会委員長、昭和小学校と学校を支える地域の方々、宇都宮市、文部科学省関係者が参加する意見交換会が行われました。この意見交換会では、これまでの昭和小学校や地域の取り組みについての説明があった後、コミュニティ・スクールの果たす役割や今後の展望など、地域とともにある学校づくりをテーマに、熱心な意見交換が行われました。

土曜日の教育活動推進プロジェクト

地域や企業の協力を得て、子供たちの土曜日の豊かな教育環境の実現に向けた取組を推進するプロジェクト(平成25年11月発表)。

- ①設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能であることをより明確化するため、学校教育法施行規則を一部改正
- ②官民連携により、多様な賛同企業・団体の協力による応援団を組織して、出前授業等を行っていく「土曜日教育 ボランティア運動」を推進
- ③学校における質の高い土曜授業の推進のための「土曜授業推進事業」や、地域社会や産業界と連携した土曜日の教育活動の充実のための「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を平成26年度より新たに実施。

□土曜日の教育活動推進プロジェクトについて → http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm

□学校・家庭・地域の連携について → <http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

